



ハウディス
(HOWnet EDI Service)

運用手引書

初版 2019年 1月

協同組合ハウネット

【 運用手引書 】

1. はじめに	1
2. 通信環境	
3. マッピング機能	4
4. 文字コード変換機能	
5. F A X 配信機能	
6. メール通知機能	
7. 集配信状況照会機能	
8. サービス時間帯	5
9. データ保存期間	
10. 配信済データの再セット	6
11. データ振り分け処理契機	7
12. エラーデータの取り扱い	8
13. 運用体制	9
14. 災害対策（ディザスタリカバリ）	10
15. 障害発生時の対応	11

1. はじめに

本書は、ハウディス（HOWnet EDI Service）の運用に係わる内容を説明するものです。

2. 通信環境

2. 1 端末環境（OS、ブラウザ等）

Webを利用する端末環境は以下の通りです。

- ・ブラウザ : Internet Explorer11（推奨）、Microsoft Edge、Google Chrome
- ・OS : Windows8.1 以上

※ブラウザのバージョンの違いにより、実際に表示される画面が異なる場合があります。

2. 2 通信手順

EDIにおける利用可能な通信手順（プロトコル）は、以下となります。

- ・JX
- ・全銀TCP/IP（ISDN）
- ・全銀TCP/IP（インターネット版）
- ・SFTP（SSH File Transfer Protocol）

※全銀TCP/IP（ISDN）においては2022年9月でサービス終了予定

※疎通テストの結果、ご利用企業の環境によっては利用できない通信手順があります。

※それぞれの通信手順の機能・仕様は下記備考を参照

【備考】

JXホスト手順仕様

項目	内容
準拠仕様	2004 年度版WSDL に従ったJX 手順(SOAP-RPC)に準拠
	2007 年度版WSDL に従ったJX 手順(SOAP-RPC)に準拠
利用する通信プロトコル	流通BMS の通信はHTTP 1.1、SSL3.0、SOAP1.1
認証方式	SSL サーバー認証方式
	SSL クライアント認証方式
	HTTP ベーシック認証方式

全銀TCP/IP手順の伝送仕様

項目	内容
適用回線	電話回線および ISDN 回線における、ダイヤルアップ接続の全二重通信
データリンク仕様	PPP 仕様は RFC1661、RFC1332 (IPCP) に準拠
TCP 仕様	TCP 仕様は RFC793 (STD7) に準拠
IP仕様	IP 仕様は RFC791 (STD5) に準拠
応答方式	論理 ACK による、テキスト単位の伝達確認

全銀TCP/IP (インターネット版) 手順の伝送仕様

項目	内容
適用回線	インターネット
データリンク仕様	PPP 仕様は RFC1661、RFC1332 (IPCP) に準拠
TCP 仕様	TCP 仕様は RFC793 (STD7) に準拠
IP仕様	IP 仕様は RFC791 (STD5) に準拠
応答方式	論理 ACK による、テキスト単位の伝達確認
接続方式	サイト間接続 (L2TP/IPSec または VPNルーターによるIPSec)
動作環境	※利用企業のファイアウォールの設定変更が必要 【L2TP/IPSec】 L2TPプロトコルが利用可能な通信サーバーまたは中継用PCにてL2TPプロトコルの有効化が必要 【VPNルーター(IPSec)】 VPN接続用機器 (ルーター) が必要
認証方式	電子証明書、共通鍵 (パズフレーズ)、ID・パスワード

SFTP プロトコル仕様

項目	内容
SSHバージョン	2.0 ※1.0は非対応
鍵交換方式	diffie-hellman-group14-sha1 diffie-hellman-group-exchange-sha256 diffie-hellman-group-exchange-sha1 diffie-hellman-group1-sha1
公開鍵アルゴリズム	ssh-rsa ssh-dss
暗号アルゴリズム	aes256-cbc aes256-ctr aes192-cbc aes192-ctr aes128-cbc aes128-crt blowfish-cbc 3des-cbc arcfour256 arcfour128
メッセージ認証コード(MAC)	hmac-md5 hmac-sha1 hmac-sha2-512 hmac-sha1-96 hmac-md5-96
圧縮アルゴリズム	none zlib zlib@openssh.com
サーバー認証	サーバー公開鍵の事前登録による認証
ユーザー認証方法	・公開鍵認証 ・パスワード認証 (※標準)

3. マッピング機能

アップロード/ダウンロードのデータレイアウトを利用者が自由に定義する機能。

※詳細は、「機能説明書 マッピング機能編」を参照

4. 文字コード変換機能

生成されたデータを利用企業指定の文字コードに変換する機能。

【EDI取り扱い可能文字コード】

JIS8 (JIS)、EBCDIC、SJIS、EUC、JIPS (NEC)、IBM漢字 (IBM)、JEF (富士通)、
KEIS (日立)、UNISYS (ユニシス)

※ハウディス利用各企業は、自社文字コードのままの運用が可能になります。

5. FAX配信機能

発注企業はハウディスに発注データ (EDI・Web) を登録し、ハウディスから受注企業 (加入企業・未加入企業) へ FAX 発注書を自動的に送信する機能です。

※発注先別の方法 (EDI・Web・Fax) で発注する必要性はなく、ハウディスへの発注で一元化が可能になります。

6. メール通知機能

着信情報、エラー・ワーニング情報をメールにて通知する機能。

※詳細は「機能説明書 メール通知機能編」を参照

7. 集配信状況照会機能

自社に纏わるデータ通信に関する送受信の状態、処理結果の閲覧・印刷・ダウンロードを行う機能。

※詳細は「機能説明書 集配信状況照会機能編」を参照

8. サービス時間帯

各サービスの稼動時間は、365日6時から24時までとなります。

サービス		6時	7時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	以降
EDI機能	データ交換	稼動時間帯										
Web⇄EDI機能	EDI→Web	稼動時間帯										
	Web→EDI	稼動時間帯										
	集配信状況照会	稼動時間帯										
配信、案内	Fax配信	稼動時間帯										
	メール案内	稼動時間帯										

センター
夜間
処理

9. データ保存期間

未配信データ・配信済みデータの保存期間は、全データ種6カ月とします。

10. 配信済データの再セット

・EDIの場合・・・ハウネット事務局に依頼

受付時間	9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
申請方法	ハウネット事務局に電話依頼
再セットデータの単位	送受信単位（処理済データの一部再送には対応出来ません）

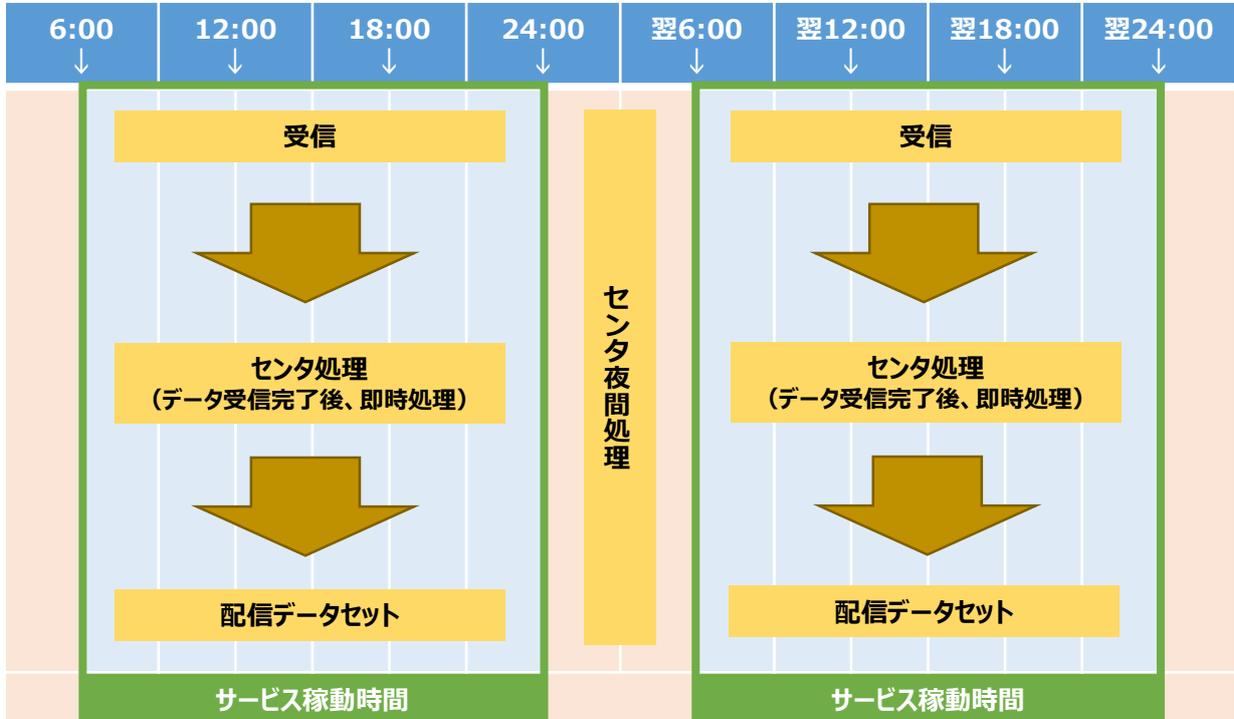
・Webの場合・・・問合せ機能から再ダウンロード

各機能の操作説明書を参照

1.1. データ振り分け処理契機

・EDI

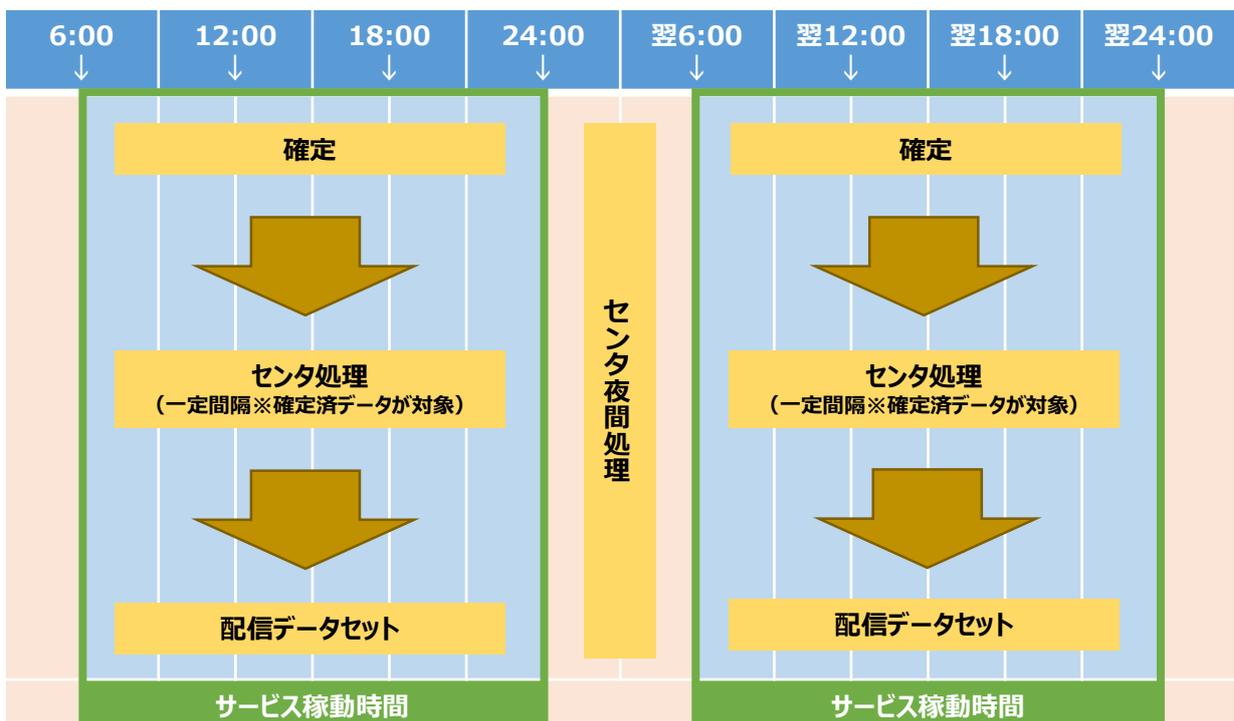
365日6:00～24:00でデータ受信後、直ちにセンタ処理で送信先毎に振り分け、配信データをセットします。



・Web

365日6:00～24:00で確定済データを一定間隔（データ種毎で異なる）でセンタ処理し送信先毎に振り分け、配信データをセットします。

（詳細は各機能説明書の「締め処理時刻」を参照）



12. エラーデータの取り扱い

・エラーとは

データに致命的な問題があり、ハウディスへの取り込みが出来ない状態

※エラーは、集配信状況照会およびメール通知で確認が可能です

・ワーニングとは

データに問題があるものの、ハウディスへの取り込みを行える状態

(データ作成企業にて次回以降発生しないよう対処が必要です)

※ワーニングは、EDI送受信時のワーニングコードで確認が可能です

・エラー訂正後の対応について

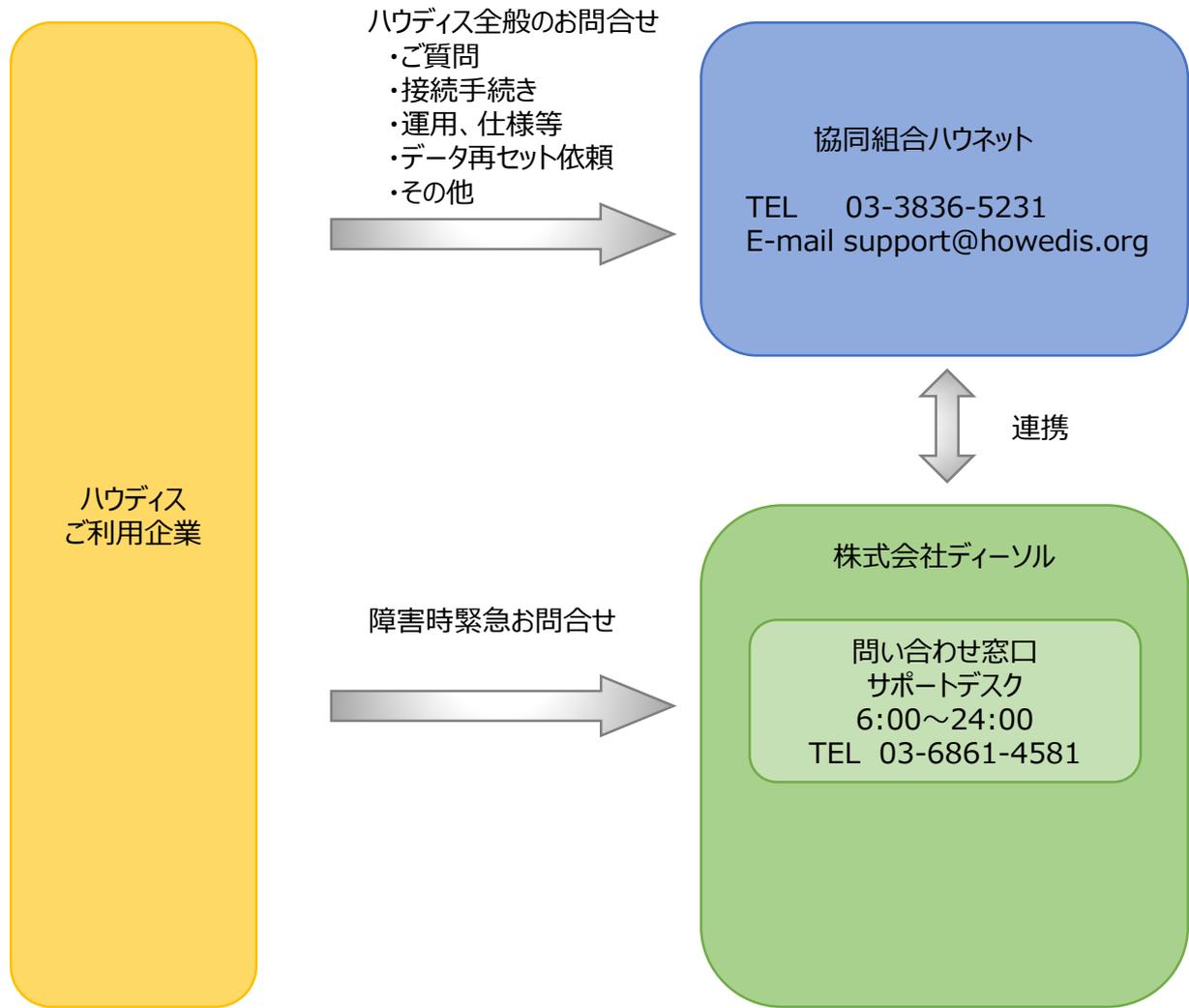
エラー訂正後にデータ再送を行う場合、利用企業のシステム利用設定内容により以下の対応方法となります。

データ作成対象区分	対応内容
ファイル単位	データが取り込まれていません。エラー訂正後にデータを再送してください。
ファイルヘッダ単位	エラーデータが含まれているファイルヘッダ単位のデータは取り込まれていません。 (正常なファイルヘッダ単位のデータは取り込まれています) エラーが含まれているファイルヘッダ単位のデータのみ再送してください。 ※再送の際に、既に取り込まれている正常なファイルヘッダ単位のデータが含まれている場合、相手企業に重複データが渡ることになります。
伝票単位	エラーデータが含まれている伝票単位のデータは取り込まれていません。(正常な伝票単位のデータは取り込まれています) エラーが含まれている伝票単位のデータのみ再送してください。 ※再送の際に、既に取り込まれている正常な伝票単位のデータが含まれている場合、相手企業に重複データが渡ることになります。

・エラー・ワーニングコード一覧

ハウディスホームページ (<https://howedis.org/>) の資料室に記載

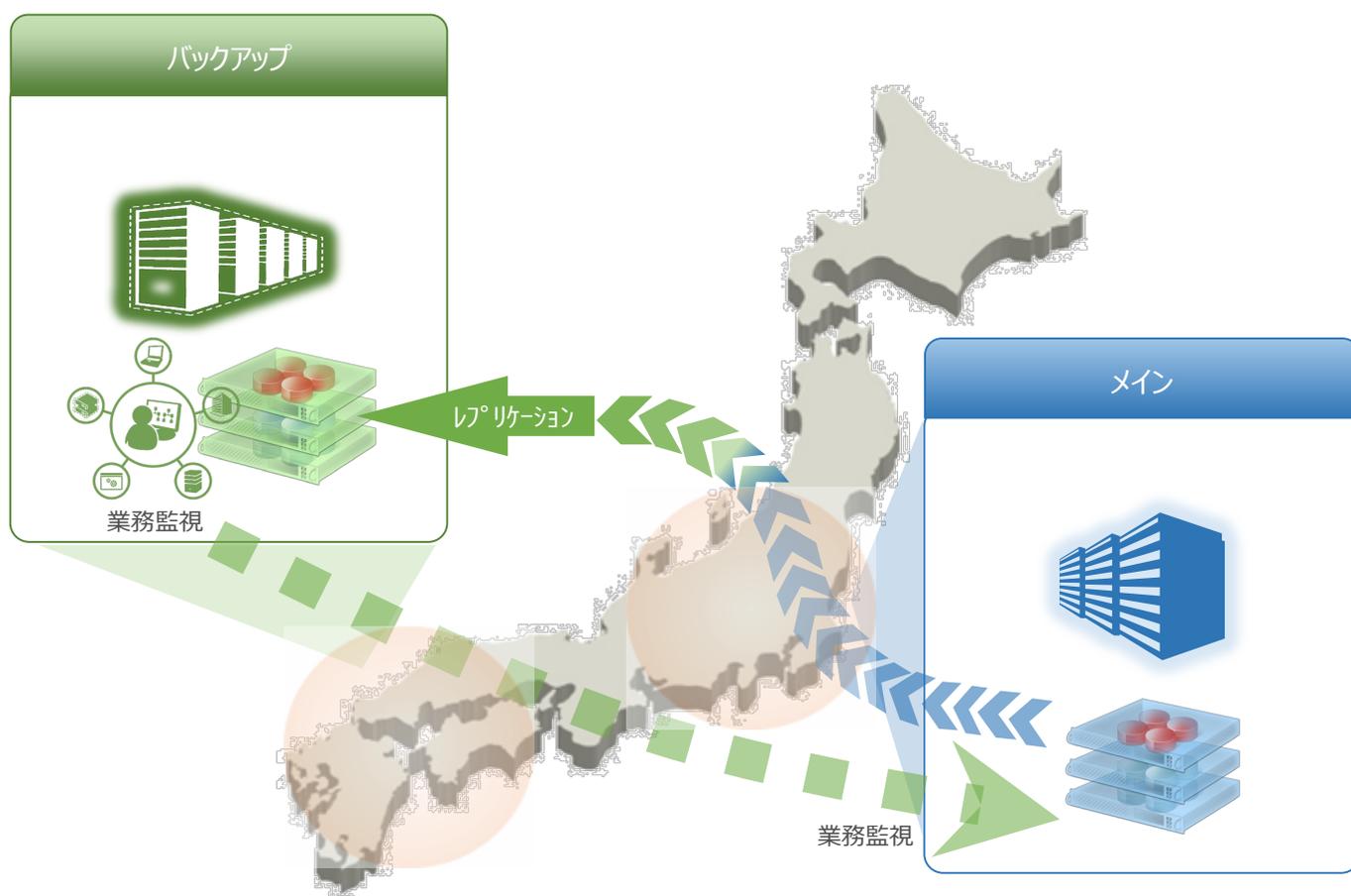
1 3. 運用体制



1 4. 災害対策（ディザスタリカバリ）

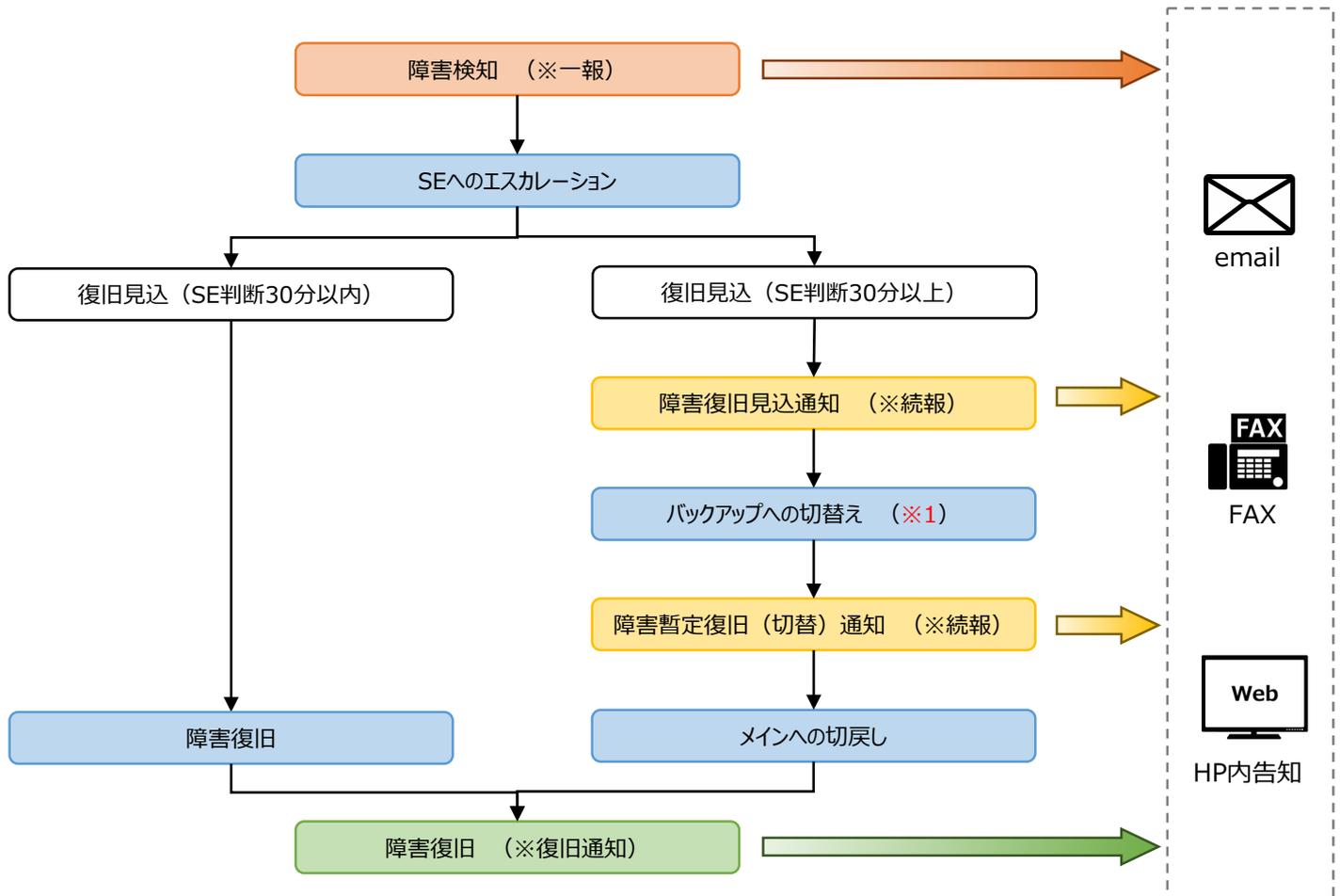
センタ設備はメインとバックアップの遠隔地2拠点に設置されています。
メインセンタとバックアップセンタは基幹WAN網で接続されており、データは即座にバックアップセンタへ反映されます。

障害発生時は、システムをバックアップセンタに切り替わります。
電話回線については、自動切換えを行うため、ご利用企業側の電話番号変更は不要です。



15. 障害発生時の対応

障害検知後30分で復旧見込みがない場合は、システムをメインからバックアップに切り替えます。
障害発生～復旧までは以下の手順で対応を行います。



【備考】

※1 EDIアクセス先電話番号変更の必要はありません。
また、Web接続先アドレスの変更の必要もありません。

※一報 : 障害検知から30分以内
続報 : 一報後30分毎、または、状況変化時
復旧通知 : 復旧時に通知

※通知方法は以下となります。
・email、FAX、ハウディスホームページ (お知らせ)